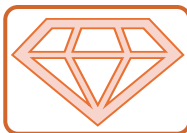


(教育プログラムの名称・身に付けることのできる能力・修了要件・開設される授業科目、授業の方法及び内容並びに実施体制)



プログラムの目的

- ・データサイエンスに関する基礎的な知識・技術の習得に加え、保健統計資料や疫学情報の読解など、臨床看護師として、看護科学者として、あるいは企業や行政での保健衛生の専門家として看護・保健の領域で活用できるリテラシーを身に着ける。



プログラムで身に付けられる能力

- 1.安全な情報管理について理解できる。
- 2.社会で収集されている、特に保健医療分野の情報について説明できる。
- 3.データの社会、特に保健医療分野における実態と利用の現状を理解できる。
- 4.保健医療分野で用いられる統計データの読解ができる。
- 5.エクセルで基本的な計算やグラフ作成による可視化ができる。
- 6.SPSSを用いた記述統計、基本的な推測統計分析を行うことができる。
- 7.SPSSによる記述統計、基本的な推測統計の出力を解釈し文章化できる。



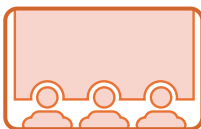
プログラムの科目構成

- ・1年次前期開講科目「情報リテラシー」、1年次後期開講科目「保健情報演習」、2年次前期開講科目「保健統計」、3年次前期開講科目「疫学Ⅰ」の計4つの必修科目によって構成している。



プログラムの修了要件

- ・プログラムを構成する全4科目の単位を修得すること。



プログラム構成科目の授業方法・内容・実施体制

- ・プログラムを構成する科目は専門基礎領域所属の専任教員2名が担当している。
- ・授業は講義と演習を効果的に組み合わせて実施し、PCの操作など学生の修得状況に差がおきやすい内容については、詳細な資料を作成し、また動画で確認できるように、全学生が修得できるように工夫している。

